

第1章

基礎理論

[1]…アーユルヴェーダとは……………	16
[2]…アーユルヴェーダの普遍的、かつ不朽の本質……………	19
[3]…アーユルヴェーダの特質……………	20
[4]…アーユルヴェーダの目的……………	21
[5]…アシュターンガ：アーユルヴェーダの8部門 ……………	21
[6]…アーユルヴェーダの神話上の起源と人間社会への啓示…	22
[7]…アーユルヴェーダの史的概説……………	24
[8]…アーユルヴェーダの哲学的背景と創造の概念……………	26
[9]…分子、原子、パラマーヌ……………	32
[10]…トリ・ドーシャ説……………	32
ヴァーユの属性……………	34
ピッタの属性……………	35
カパの属性……………	36
ヴァーユの5区分……………	37
ピッタの5区分……………	39
カパの5区分……………	40

ドーシャの主な存在部位……………42

[11]…ラサ、ヴィールヤ、ヴィパーカ……………	43
[12]…7つのダートゥ（身体の組織要素）……………	44
[13]…マラ（排泄物）……………	45
[14]…アグニ（酵素）……………	48
[15]…アーマとその形成……………	51
[16]…13種類のスロータス（経路）……………	53
[17]…プラクリティ（体質）……………	57
[1]・胎児の組成……………	58
[2]・心的能力の分類……………	58
[18]…13の生理的要求とその抑制(ヴェーガ・ダーラナ)……………	62
[19]…疾病の分類……………	65
[20]…病気の発症……………	66
[21]…疾患の名称……………	67

第2章

診療の実際

[1]…ローギー・パリークシャー（患者の診察）概論……………	70
[2]…ナーディー・パリークシャー（脈診）……………	73
[3]…ムートラ・パリークシャー（尿検査）……………	75

[4]…ローガ・パリークシャー（病気の検索）	78
[1]・ニダーナ（病因論）	78
a プラジュニャーパラダ（知的過失）	79
b アサートミエーンドリヤールタ・サンヨーガ（感覚器官とその対象との不適切な接触）	79
c カーラ・パリナーマ（季節の影響）	80
d カーラナ（原因）	81
e クリミ（病原体）	82
[2]・プールヴァ・ルーパ（前駆症状や症候）	82
[3]・ルーパ（症候や症状）	83
[4]・ウパシャヤ（診断的治療）	85
[5]・サンプルプティ（発病機構）	88
[5]…病気の種類あるいはタイプ	89
[6]…予後	92
[7]…治療	94
[8]…薬物の製剤方法	98
a スヴァラサ（液剤，ジュース）	98

b チュールナ（粉剤）	99
c パンタ（浸剤）	100
d クヴァータ（煎剤）	100
e カルカ（練剤，ペースト）	100
f クシーラ・パーカ（乳剤）	100
g シータ・カシャヤ（冷浸剤）	100
h アヴァレーハ，レーヒヤム，パーカ，プラーシャ，あるいはカンダ（舐剤あるいはジャム）	101
i タイラ（油剤，薬用油）	101
j グリタ（薬用ギー）	101
k アーサヴァとアリシュタ（アルコール製剤）	101
l ヴァティーあるいはグティカー（丸薬あるいは錠剤）	102
m モーダカ（大型の丸薬）	102
n パルパティー（鱗片製剤，鱗状剤）	102
o クーピーパクヴァ・ラサーヤナ（昇華法で調剤された薬）	102
p バスマ（焼成）	103

q	ピシュティー (宝石の粉末) ……104
r	アンジャナ (眼薬, コリリウム) ……………105
s	ヴァルティー (長効丸薬) ……105
t	ポッターリー (金属から調製される 製剤) ……105
u	アルカ (蒸留法による製剤) ……105

[9]	…処方や薬の名称……………106
[10]	…食事……………107

第3章

生薬各論

[1]	…ハリータキー (ミロバランノキ) ……110
[2]	…ビビータキー (セイタカミロバラン) ……113
[3]	…アーマラキー (マラッカノキ) ……114
[4]	…トリパラ (三果: ハリータキー, ビビータキー, アーマラ キー) ……116
[5]	…シュンティー (ショウガ) ……116
[6]	…マリチャ (黒コショウ) ……118
[7]	…ピッパリー (ナガコショウ) ……121

[8]	…トリカトゥ (3辛薬: ショウガ, 黒コショウ, ナガコショ ウ) ……122
[9]	…ハリドラー (ウコン) ……122
[10]	…ラシュナ (オオニンニク) ……124
[11]	…ブラーフミー (ツボクサ, オトメアゼナ) ……127
[12]	…ヴァチャー (Acorus calamus L) ……129
[13]	…トゥラシー (カミボウキ) ……131
[14]	…ヤシュティマドゥ (カンゾウ) ……132
[15]	…ヴァーサー (アダトダ) ……134
[16]	…ジャーティパラ (ニクズク, 種子はナツメグ) ……136
[17]	…ヒング (樹脂はアギ) ……137
[18]	…グググル (樹脂は没薬) ……139
[19]	…ジーラカ (果実はクミン) ……141
[20]	…ティラ (ゴマ) ……142
[21]	…ヴァーターマ (アーモンド類) ……144
[22]	…エーランダ (トウゴマ, 種子油はヒマシ油) ……146
[23]	…ヴァツァナーバ (トリカブト類) ……148
[24]	…アティヴィシャー (Aconitum heterophyllum Wall.) ……………150
[25]	…ヴィダンガ (エンベリヤ) ……151
[26]	…チトラカ (マツリ) ……153

[27]…カトッキー (コオウレン) ……………	154
[28]…プリンガラージャ (タカサブロウ) ……………	155
[29]…グドゥーチー (イボナシツツラフジ) ……………	156
[30]…クマーリー (アロエ種) ……………	157
[31]…ダーディマ (ザクロ) ……………	159
[32]…ドゥールヴァー (ギョウギシバ) ……………	161
[33]…アショーカ (ムユウジュ) ……………	162
[34]…ムスター (ハマスゲ) ……………	163
[35]…ゴークシュラ (ハマビシ) ……………	165
[36]…パーシャーナベダ (ユキノシタ種) ……………	166
[37]…アシュヴァガンダー (セキトメホオズキ) ……………	168
[38]…アジャモーダー (ヒメウイキョウ) ……………	168
[39]…マドゥ (蜂蜜) ……………	169
[40]…グリタ (ギー) ……………	170

第4章

病気とその治療

[1]…ジュヴァラ (発熱) ……………	174
[2]…カーサ (咳, 気管支炎) ……………	176
[3]…シュヴァーサ・ローガ (喘息) ……………	180

[4]…アジールナ (消化不良)、アグニマーンドヤ (消化力減退) ……………	185
[5]…アーマヴァータ (リウマチ) ……………	187
[6]…プラメーハ (糖尿病をも含む尿の異状を呈する疾患群) ……	192
[7]…メードー・ローガ (肥満症) ……………	198
[8]…アルシャス (痔核あるいは痔疾) ……………	200
[9]…ドリシュティドーシャ (視力障害, 屈折異常) ……………	205
[10]…シラハ・シューラ (頭痛) ……………	207
[11]…アシュマリー (尿路結石) ……………	209
[12]…ラクタ・チャーパ・ブリッディ (高血圧症) ……………	213
[13]…ヴィチャルチカー (湿疹) ……………	215
[14]…フリドロエガ (心臓病) ……………	219
[15]…シューラ (疝痛) ……………	220
[16]…プラティシュヤーヤ (感冒) ……………	222
[17]…マッサージに関する留意点 ……………	224
[18]…優れた薬剤と処方について ……………	226
[19]…伝統的な日常の過ごし方 ……………	229
[20]…歯のカルシウムのためのシャンカ・バスマの (巻貝のバスマ) の作り方 ……………	231
索引 ……………	245